豊岡北中学校だより
誠　　実
令和８年１０月３０日
第７号
豊岡市立豊岡北中学校
兵庫県豊岡市中陰 250 番地

学校教育目標　　「ふるさと豊岡を愛し、自らを高め、共に学び挑戦する生徒の育成」

全国学力・学習状況調査の結果を受けて　～今後の学びと指導の充実～

朝夕の心地よい風に、確かな秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、結果が公表されました「全国学力・学習状況調査」についてお伝えいたします。この調査は、中学３年生を対象に学力や学習状況を把握・分析し、学校教育の改善を図ることを目的として、今年度は国語、数学、英語および生徒質問紙調査が実施されました。この調査で測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではあります。しかし、生徒たちの学習の定着度や、日頃の生活・学習習慣の傾向、そして本校が取り組むべき教育課題を客観的に確認できる貴重な指標です。結果を真摯に受け止め、良かった点（強み）はさらに伸ばし、課題が見られた点については、日々の授業改善や家庭学習へのアプローチを通じて、全教職員で指導の充実に努め、生徒一人一人が「わかる楽しさ」を実感し、主体的に学ぶ力を育むための学校運営に役立ててまいります。

国語	結果	
	【全国・兵庫県とほぼ同程度】助動詞の働きや単語の正しい使い方など「言葉の特徴や使い方に関する事項」での正答率、話し合いをもとにそれをまとめたものの説明を選ぶ問題の正答率が高かった。	
	課題	今後の重点取組
	①語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること ②会話や文章、例文などを比較した上で、与えられた条件を満たしながら自身の考えを述べること	①辞書やタブレットを活用しながら、不明瞭に捉えている語句の意味を正しく理解する活動を行う。 ②考えを支える根拠や理由付けを明確にするため、必要な情報を選び取った上で考えを表現する活動を行う。また、表現の工夫や意図を伝え合ったり、話し合う活動を進める。
数学	結果	
	【全国・兵庫県を上回る】領域別、問題形式別でも、全ての項目で上回った。標準偏差は全国より小さく、ばらつきが小さく、学習の定着はまずまずと言える。	
	課題	今後の重点取組
	①「データの活用」の領域で、知識として、累積度数を求めること ②数学的に表現したことを解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること	①用語を知識として覚えるのみにとどまらず、言葉の意味を理解させる。活用する場面を増やし、知識の定着を図る。 ②話し合い活動を充実させ、思考の過程を整理し、根拠を明確にして他者に伝える力を育成する。説明を言語化するだけでなく、記述する活動にも取り組む。
英語	結果	
	【全国・兵庫県とほぼ同程度】[読むこと]:状況から判断し必要な情報を読み取り、概要を捉えることができた。[書くこと]:活用できる技能が身についている。[聞くこと]:状況から判断し、必要な情報をつかむことができた。	
	課題	今後の重点取組
	①日常的な話題について、自分の考え・気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと ②日常的な話題について、話を聞き、概要や要点を捉えること	①自分事としてテーマを設定し、気持ちや考えを表現する語句を整理しながら文をつなぐ活動を設定する。インプット⇔アウトプットのサイクルを意識した活動を継続する。 ②目的や場面状況を明確にまとまりのある音声を聞く場面を設定し、聞いた後にマッピングや図式化を行う。部分ではなく全体を捉えることに焦点をあてたリスニング活動を増やす。

【生徒質問紙について】

「先生は、あなたのよいところを認めてくれている：92.2%」「人が困っているときは、進んで助けている：92.9%」「人の役に立つ人間になりたい：98.6%」「学校に行くのは楽しい：87.3%」「友達関係に満足している：90.8%」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある：92.3%」といった項目はいずれも高水準であり、概ね安定した学校生活を送っている様子がうかがえます。しかし、「将来の夢や目標を持っている：62.0%」にとどまることから、『自己実現に向けた指導と支援』のさらなる充実を図る必要があると考えます。